

一般質問



古庄 信一郎 議員

志免町緑地保全計画の策定を

答弁／精査し緑地計画を後世に残す

古庄 昨今、志免町の緑地保全で色んな問題、課題が発生しておりその原因に行政の考え方、ルールの曖昧さ、対応のまずさがある。

緑地保全の基本的考え方は、

町長 緑地は町民の健康で文化的な生活に欠くことができないもの。適正な保全と緑化推進を図り次世代に継承する。

古庄 緑地基本計画は策定しているのか。

生活環境課長 していない。

古庄 町の緑地保全地区は、

生活環境課長 片峰山の竹林。

古庄 県策定福岡都市計画での緑地は、志免の各丘陵地、斜面緑地、平成の森他となっており町の定義が曖昧だ。

市街化区域での緑被率は、宇美、須恵、篠栗町より志免は低く、校区別では西小校区が極端に低く緑地が少ない。

町長 緑地は保たれているが、全て町有地でなく、所有者に理解を得この比率を高める。

古庄 土地提供者との関係では、樹木や土砂の管理や、税・相続時の問題。施策面では、承諾書と覚書、補助金と奨励金の違い、町条例と上位法条文との矛盾他、指摘する事項が多々あり、結果施策が曖昧となっている。また、志免町の緑地が全体的に大変少なく、将来的にも住環境の悪化

が大変危惧される。緑地保全の為にトラブルが今後も起らないように、基本となる上位法をよく精査し、早急に条例の整備等を行い、後世に感謝されるような狭い町土に合った志免町らしい緑地計画を策定すべき。

町長 今迄は緑地に対する関心が薄かったと反省する。志免

町らしい緑地計画を後世に残すことは今我々がする責務の一つ。関係法、諸制度を検討し、時代に相応しい緑地保全に繋がるよう精査する。

古庄 近年は、防災面からも緑地の保全は大変大事な部分で、真剣に検討し策定を願う。



片峰山竹林